

知っていますか？ 受動喫煙の害



受動喫煙によって多くの病気にかかりやすくなります

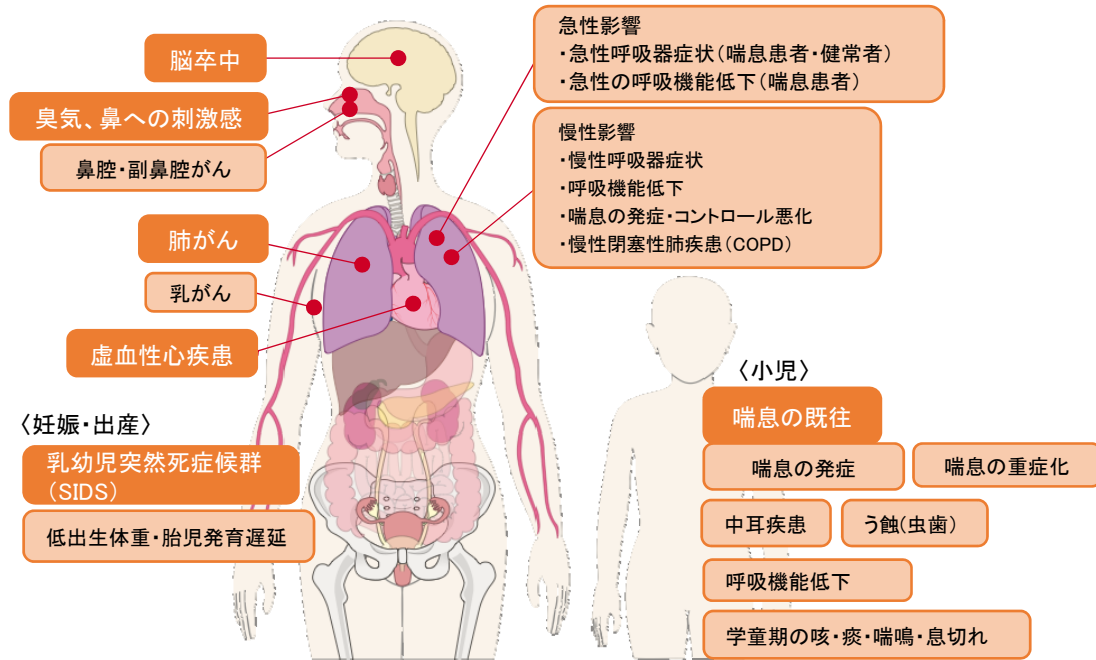
たばこの煙には5000種類以上の化学物質、70種類の発がん物質が含まれています。2016年の厚生労働省の検討会報告書によると、受動喫煙との関連が「確実」と判定された病気や症状として、脳卒中、虚血性心疾患、肺がん、乳幼児突然死症候群(SIDS)、不快な臭気、鼻への刺激感、喘息の既往が報告されています。そのほか、受動喫煙との関連の可能性のあるものとして、乳がん、低出生体重・胎児発育遅延、喘息の発症や重症化、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などがあります。

確実

因果関係を推定するのに十分な科学的証拠がある

可能性あり

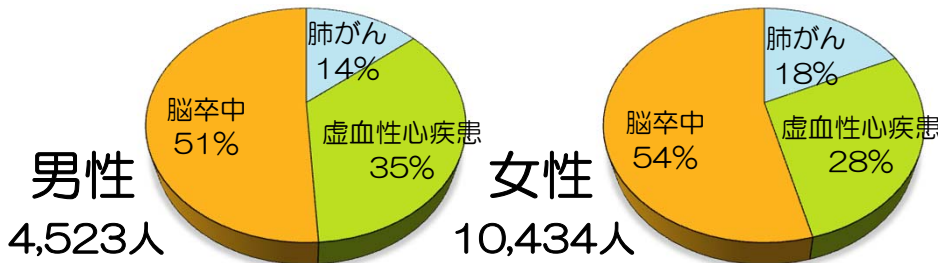
因果関係を示唆する科学的証拠があるが十分ではない



提供：平成27年度厚労科学 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究 片野田班 (厚生労働省検討会報告書 喫煙の健康影響に関する検討会編: 喫煙と健康、2016)

毎年多くの命が受動喫煙によって奪われています

わが国では、受動喫煙が原因で、脳卒中、虚血性心疾患、肺がん、乳幼児突然死症候群の病気年間1万5千人が死亡していると推計されています。



受動喫煙による年間死亡数推計値

肺がん 2,484人
虚血性心疾患 4,459人
脳卒中 8,014人
乳幼児突然死症候群 73人
合計 約1万5千人

(厚生労働省検討会報告書 喫煙の健康影響に関する検討会編: 喫煙と健康、2016)

受動喫煙には他者危害があります

2009年の厚生労働省の「受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会報告書」によると、受動喫煙は、喫煙者による「他者危害」であることが指摘されています。また、厚生労働省の研究班が受動喫煙の他者危害性を法的に検討した結果、他人に繰り返したばこの煙をふきかける行為は、暴行罪や傷害罪が成立しうる可能性があるとの結論づけています。

受動喫煙についてはマナーで解決するといった考え方もありますが、受動喫煙の健康被害の深刻さを考えると、有害物質としての規制が必要です。

社会として受動喫煙防止のための法的規制が必要です

受動喫煙による他人に対する危害を防止するためには、マナーにゆだねるだけでなく、社会としてたばこが吸える場所を法的に規制することが必要です。

わが国が批准している「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）」では、喫煙室や空気清浄機による対策は不適切であり、受動喫煙を防止するためには100%全面禁煙とすることが求められています。世界的には、職場や公共的場所だけでなく、レストランやバーなども含めて包括的な屋内全面禁煙を実施している国が増加し、すでにオーストラリア、カナダ、イギリスなど50カ国以上に広がっています。

受動喫煙防止のロゴマーク

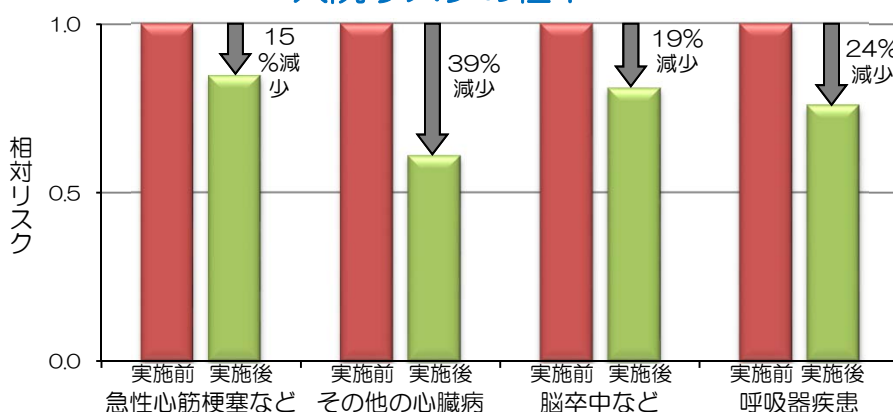


厚生労働省は、国民の健康を守る観点から、受動喫煙のない社会を目指すために、ロゴマークを発表しました。

受動喫煙防止の規制の効果

法律によって屋内の喫煙が禁止された国々では、虚血性心疾患や脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患や喘息などの呼吸器疾患により入院するリスクが、約2~4割減少したことが報告されています。その効果は、禁煙化の範囲が広いほど大きいこともわかりました。また屋内が禁煙化されることで、喫煙者が禁煙して、喫煙率が低下することもわかっています。

受動喫煙防止法による喫煙関連疾患の入院リスクの低下



(Tan C.E., et al: Circulation 126: 2177-2183, 2012.)

このような対策では不十分

効果的に受動喫煙を防ぐためには、一般に受動喫煙にさらされる機会が多い職場と家庭の対策が特に重要ですが、家庭は法律による規制の力がなかなか及ばないという問題があります。家庭や職場で使われている受動喫煙対策を下記に示しました。受動喫煙を防ぐためには、建物内や自動車内でたばこを吸わないことが望まれます。また、喫煙者に対しては、本人の健康のためにも、禁煙してもらうよう働きかけましょう。



お役立ち情報

●厚生労働省の「e-ヘルスネット」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/tobacco>

厚生労働省が運営する生活習慣病予防のための健康情報サイト。喫煙のページでは、たばこによる健康影響をはじめ、禁煙による健康改善効果、禁煙に役立つ方法や薬についての情報などが掲載されています。

●厚生労働省「喫煙の健康影響に関する検討会報告書（たばこ白書）」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000135586.html>

厚生労働省の検討会が出したたばこに関する報告書。たばこ製品の現状、たばこの健康影響、たばこ対策について詳しくまとめられています。